

第23回 ちゅうでん教育振興助成（2023年度）

小・中学校の部 報告書資料

学校名・団体名	高岡市立博労小学校
コース	学校支援コース
活動・研究のテーマ	博労発 未来に向かって一歩前進！ふるさと学習

（活動・研究の意義及び活動報告）

1、活動に至る経緯

- ・ 本校は、児童数239名、学級数12の小規模な小学校である。
- ・ 今年度、創校122周年目を迎えた。本校に併設されている「ばくろう思い出館」は創校百周年の際、地域住民の熱い思いで設立されたものである。当館には、創校以来100年以上に渡って保管されてきた児童の卒業作品が収蔵・展示されている。当館設立が示すように、学校は地域の象徴として大切にされてきた。
- ・ 恵まれた地域環境のもと、ふるさとを愛し、ふるさとに貢献する児童の姿を目指し、毎年ふるさと学習に取り組んできた。

2、活動・研究の目的

これまでの取組を振り返ると、①取組が形骸化・マンネリ化していないか、②児童主体の学習となっているか、など反省点は多い。本年度は、総合的な学習の時間を中心にふるさと学習を推進し、その充実を図ることとした。本校のふるさと学習に新たな一歩を加えたい。その願いのもと、「未来に向かって一歩前進！」を合言葉に全校体制で取り組んだ。

3、活動報告（通年）

(1) 第6学年 「伝統・文化」「共生」

長年にわたって本校の卒業作品の研究に取り組む広島大学大学院准教授と、ばくろう思い出館館長を講師に迎えて、出前講座「博労の歴史」を行った。児童は、2人の講義を通して、学校が地域住民の熱い思いに支えられてきたこと、当館に収蔵されている卒業作品には本校卒業生の思い・願いが込められており、美術科教育の資料としても貴重なものであることを知った。

6年児童は、学校の伝統を受け継ぐことの大切さを下級生に伝えようと、プレゼン資料「博労の歴史」をまとめ、6月の創校記念式で発表した。



ばくろう思い出館での出前講座

(2) 第5学年 「防火・防災」



避難訓練：校下防災士の講評



高岡市危機管理課による出前講座：「避難所」の役割を学ぶ



昨年度、本校区で大きな住宅火災があった。また、今年度は、7月に集中豪雨による水害が発生し、本校体育館が避難所となった。

これらを受け、5年児童は、「防火」「防災」が本校区の喫緊の課題であることを痛感した。備蓄倉庫

の見学、高岡市危機管理課による出前講座等を契機に、ふるさとを火災や自然災害から守るため、自分たちにできることを考え実践していった。防火ポスター、防災新聞の掲示、下級生向け防災プレゼンの発表等を行った。博労校区防災士会の協力のもと、全校を巻き込んで地震や水害に備えた避難訓練も実施した。

そして、本年の能登半島地震の発生である。本校は、再び避難所となり、地域住民が数多く避難された。5年児童は、社会の今日的課題に直面することとなり、3学期現在も全校の友達、家族等の防災意識を高める活動、被災地支援のための活動を続けている。

(3) 第4学年 「環境」「福祉」

本市は歴史・文化の町であるとともに自然豊かな町でもある。4年児童は、高岡を持続可能な町とするために、環境保護活動に取り組んだ。(公財)富山環境財団の協力のもと「環境チャレンジ10」の取組に参加し、まずは節水・節電、エコバッグの活用等の呼びかけから始め、地球温暖化防止の取組を家族や全校児童に広げた。10月には身近な森林(中パの森)に出かけ、直接森林と触れ合う体験活動・ワークショップ等を行い、森林の大切さを五感を通して学んだ。

一方、ジュニア福祉活動にも積極的に取り組んだ。環境保護の取組と関連付け、自然の恵みを生かしてオリジナルの草木染ハンカチを製作し、身近な高齢者等にプレゼントする活動を行った。また、地域の人に「元気」を届けようと公民館まつりに出演し、地域の高齢者に大変喜ばれた。



「草木染体験」：自然素材を生かす



「中パの森」森林教室



「公民館まつり」：民舞で元気に！

(4) 第3学年 「地域振興」「伝統・文化」

本市は、開町から400年以上がたつ。近隣校区には国宝瑞龍寺や古城公園、御車山会館等があり歴史の重みを感じさせる。その一方で、他の地方都市と同様に少子高齢化が進み、市街地の活性化等地域振興が課題でもある。社会科と関連を図り、1・2学期に全員で市内探検・社会見学を行い、本市の概要や特色を学んだ。児童は、高岡市民の一人として、各自がアピールしたい高岡の「じまん」「いいところ(よさ)」を決めて新聞にまとめた。また、「昔の学校や子供」についても調べ、学習成果を2年生に紹介する活動も行った。



観光ボランティアに学ぶ

(5) 全校 「受け継ぐ・歌い継ぐ」

本校には、校歌のほかに、各時代に児童や教職員によって作られた合唱曲が複数あり、学校行事等の節目ごとにこれらの合唱曲を学び、歌い継いできた。本年度も、全校合唱の機会を設け歌い継ぐことで、児童は本校で学ぶことへの喜びや誇りを感じ取ることができた。この全校合唱は、本校卒業生をはじめ地域の方の誇りと喜びにもつながっている。地域行事等でも紹介する機会を設けていく。

4、子供たちへの効果

- ・ 総合的な学習の時間のテーマのもと、地域の今日的課題に気付き、その解決に向けて主体的・協働的に取り組むことができた。
- ・ ふるさと学習を通して、地域の事象(人、もの、こと)と直接「関わる」、「つながる」ことで、地域の一員としての自覚を深め、自分たちにできることを考え実践しようとする態度が育った。
- ・ 家族・友達・地域の人から認められる機会をもつことで、自己有用感を高めることができた。
- ・ ふるさと博労、ふるさと高岡に誇りや愛着をもち、ふるさとの未来を担う人材の一人となるべく、自分をより成長させたいという姿勢が見られるようになった。